



権力側が隠そうとすることを明るみにする！

望月衣塑子さん（東京新聞）講演会



5月15日（日）13時30分から、北見芸術文化ホールで、平和憲法を護るオホーツク連絡会主催による講演会が行われました。会場は満席に講師は、東京新聞の望月衣塑子さんで、『報道の現場から』いま、日本の民主主義を問う』をテーマに話されました。

日本の政治の中枢の危うさを問う暗くなりがちな話の中にも、望月さんのあきらめない姿勢、熱意、そしてユーモアに引き込まれ、希望溢れる時間になりました。ロシア・プーチンのウクライナ侵略、憲法改悪、ジェンダー、格差、軍事費拡張など全てが日本の民主主義を問うものでした。

望月さんのジャーナリストとしてのテーマは「権力側が隠そうとすることを明るみに出すこと！」その力強さに圧倒されました。

が、仲間をつくり、声を上げることの大切さを語り、「選挙に行く人を増やすために周囲の人を誘いましょう」と訴えていました。

参加した皆さんの感想を紹介します。

現場の状況がピンピン伝わった。あの素早さがないと安倍・菅・岸田政権には太刀打ちできないと思った

正しいことを正しく伝えてくれる人が多くいると良い

有権者に伝えたいこと、語らなければならぬことが満載

落ち着いた人かと思ったら、パワフルで元気な人で、驚いた

来たる 5月25日（水）はたやまキャラバン



参議院北海道選挙区予定候補はたやま和也氏が5月25日に来網します。演説箇所は以下通りです。お誘い合わせての応援をお願いいたします。

- ① つくし3丁目市営住宅前 16:45
- ② 潮見9丁目農大アパート前 17:10
- ③ ベーシック橋北店前 17:35

19時よりエコーセンターにて行き詰った経済をどうするかなど、はたやま和也候補を囲んで『つどい』を行います。ご参加を、お待ちしております。

ロシアによるウクライナ侵略をめぐる、日本共産党は「この戦争をどう終わらせるかは、世界の平和秩序の行方を左右する大問題」と強調し、国連憲章に基づく平和の国際秩序の回復に向け国際社会の結束を求めています。

志位委員長は、「あれこれの『価値観』で世界を二分するのでなく、『国連憲章を守れ』の一点での団結」が必要だと指摘してきました。この点で「民主対専制の構図を強調するバイデン政権に対し、米国や欧州、アジアの識者から批判の声が上がっていることが、赤旗日刊紙に掲載されていました。力で国境線を変更するという極めつけのルール破りを犯す「ならず者の代表格」のロシアには、「ルールに基づく秩序」の回復という「より包摂的」な国際努力が必要だと述べています。戦争を止めるには、ルールに基づく話し合いが必要です。

新型コロナウィルスの発生源はコウモリなどの野生動物のすみかを奪う人間の開発によるものと言われます。



後進国が先進国のように便利になり、大量の商品を売る企業が儲ける。儲け優先の社会を当たり前だと考えていたら温暖化が進み、人間も動物も地球に住めなくなります。まして、戦争なんてやっている場合ではありません。世界がどうやって地球に住み続けられるようにするか、協力する時です。

日本では法人税減税や雇用破壊で大企業が儲けのため込み、賃金が上がリません。冬は円安で灯油の値段が上がリ、家計が圧迫されました。儲け優先から家計にやさしい経済への切り替え、既存住宅の断熱性能を上げ、省エネルギーへ切り替える時です。日本共産党が大きな転換点をどう進めていくかが参議院選挙で皆さんに提案し、考えてもらうことが大切だと思っています。

流水

我が家の庭先でチヨウノスケソウが咲き始めました。この植物は常緑で高山植物です。名前の由来はロシア植物学者マクシモビッチの助手をした須川（すかわ）長之助の名にちなんだものです。▼

1種類と思われるでしょうが、フクジュソウ、キタミフクジュソウ、ミチノクフクジュソウ、シコクフクジュソウの4種があります。キタミフクジュソウは、オホーツク管内にちなむ名前です。違いは、花が茎に1個のみ着き、葉は対生し、托葉はなく、特に裏面に毛が多く、展葉時は白っぽく見えます。▼この仲間は、花、茎と葉を含め地上部全体が太陽の動きに合わせて回転する向日性持ち、夜間や曇り日には花を閉じています。晴れると花の中心に太陽の熱を集め虫たちを呼び寄せ暖を取らせ、受粉を進めます。▼季節的に光環境が大きく変化する落葉樹林下に適応した生活史を持っています。▼しかし、フクジュソウは、全草が有毒植物なので食べることはできません。



博物館友の会会員 小森